

目覚めよ！

眠れる

森の宝物

展

『旧岐阜県庁舎を残そう』
岐阜の宝物を考え、議論する

特別な6日間

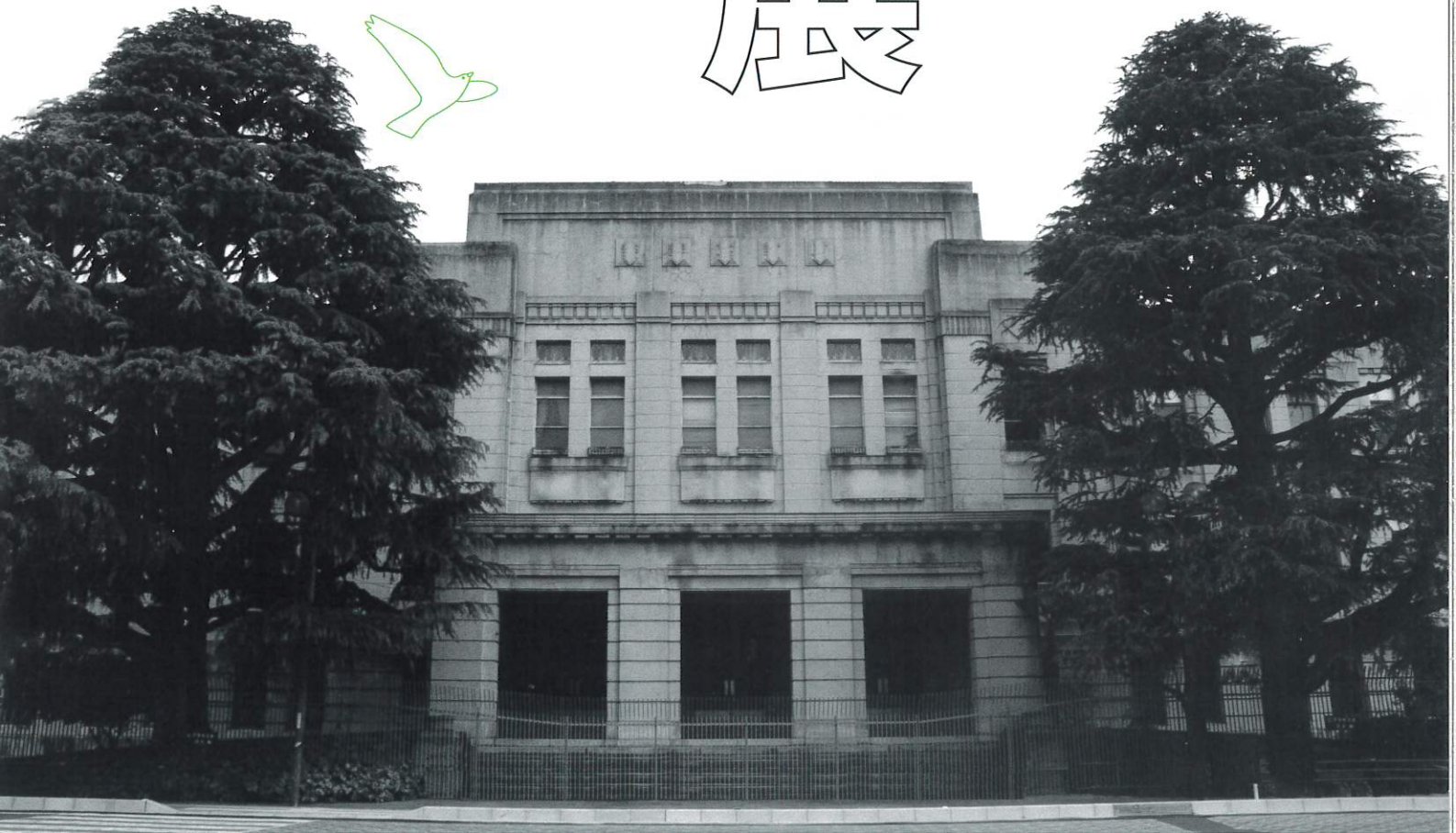
2022

9/15(木) ~ 9/20(火)

みんなの森 ぎふメディアコスモス1F
「ドキドキテラス」にて開催

〒500-8076 岐阜県岐阜市司町40-5
TEL 058-265-4101

主催：司町旧県庁舎保存活用協議会

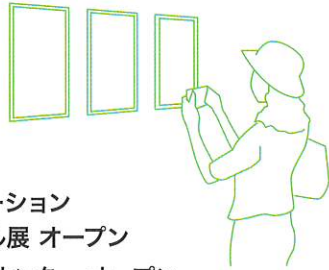


INFORMATION

旧岐阜県庁舎内部の写真展示・学術セミナー・街歩き・JAZZライブなど
『岐阜の宝物』を感じるイベントが満載!!

会場：みんなの森 ぎふメディアコスモス1F「ドキドキテラス」

1 9/15 (木)



- 10:30 キックオフ宣言
「特別な6日間が始まる」
- 11:00 キックオフ プレゼンテーション
旧岐阜県庁舎内部パネル展 オープン
- 11:45 岐阜レガシーサポート カウンター オープン
- 17:00 クローズ

2 9/16 (金)

- 10:00 パネル展 (イベント期間中 継続開催) **当日受付 12:30~ (先着30名)**
- 13:30 プロローグ・セミナー
- [スピーカー]
清水 隆宏 氏 (岐阜工業高等専門学校准教授)
- <テーマ>
「旧岐阜県庁舎の魅力、文化・学術的意義、岐阜の宝、新しい風、岐阜市活性化」
~「未来の街づくり」まで、私たちの岐阜を皆で考えよう
- 15:00 クローズ
- 17:00 クローズ

3 9/17 (土)

- 13:30 パネルディスカッション **当日受付 12:30~ (先着30名)**
- [パネリスト]
矢橋 修太郎 氏 (矢橋大理石 代表取締役社長)
後藤 泰男 氏 (INAXライブミュージアム 主任学芸員)
村山 関 氏 (多治見市モザイクタイルミュージアム 学芸員)
- [モデレーター]
古川 秀昭 氏
(司町旧県庁舎保存活用協議会会長
画家、前岐阜県美術館館長、OKBギャラリーおおがき館長)
- <テーマ>
『目を覚ませよう、眠れる岐阜の宝物を』
二度と再現出来ない、
こんな素晴らしい宝物がここに眠っている。
- 15:00 クローズ
- 17:00 クローズ

4 9/18 (日)

- 10:00 パネル展
岐阜レガシーサポート カウンター
- 17:00 クローズ



5 9/19 (月祝日)



- 10:00 司ウオーキング「街歩き」
[街歩きガイド]
富樫 幸一 氏 (岐阜大学 名誉教授)
清水 隆宏 氏 (岐阜工業高等専門学校准教授)
- <テーマ>
「“岐阜の宝物”を100年未来に繋げよう」
司町を起点に、旧岐阜県庁舎外回り、岐阜街の歴史、
町家そぞろ歩きで体験学習 (所要時間：約2時間)

【申込】予約受付 (先着20名)

ktogashihonjo@gmail.com

協議会 副会長 富樫 幸一

※軽装・シューズなどウォーキングができる服装でご参加下さい。
※体力に自信のある方に限ります。
※雨天決行(警報発令時中止)【集合時間 9:45 会場受付】

12:00

13:30 土田晴信 オルガントリオ Jazzライブ

Quest 100

「100年前の旧岐阜県庁舎&100年ジャズを味わおう」

|1st stage| 13:30~14:30

|2nd stage| 15:30~16:30

(イス席 30席 / 立ち見OK)

詳細は
チラシ裏面

16:30

17:00

クローズ

6 9/20 (火)

当日受付
12:30~
(先着30名)

13:30 エピローグ・セミナー

[スピーカー]

富樫 幸一 氏 (岐阜大学 名誉教授)

<テーマ>

「旧岐阜県庁舎の魅力、文化・学術的意義、岐阜の宝、
岐阜市活性化」~「未来の街づくり」まで、
今回のイベントを契機に新しい風をおこし、
100年後未来に繋げよう。

15:00

16:00

エンディング宣言

お問い合わせ

Mail : zwq07772@nifty.com Tel : 090-3937-6572

司町旧県庁舎保存活用協議会 事務局：入山 要

■全てのプログラムの参加費は無料です。

■プログラム内容は予告なく変更・中止する場合があります。

■申し込みが多い場合は参加をお断りする場合があります。



司町の旧県庁舎には何かが潜んでいる！

そびえ立つ二本のヒマラヤスギを正面に備えた県の総合庁舎で、かつての岐阜県庁であったその建物をご存知だろうか？6年前に登場したメディアコスモスと今年竣工の岐阜市庁舎の新たな人の動きから、すっかり忘れられた大正時代の建築物である。私自身の経験ではほんのちょっと前までそこで何度か大切な会議に出席したことがある。現在の県庁内の会議室と違って、なんだかゆったり、大らかな気分で格調高い会議になった印象が思い出される。

岐阜県美術館の館長であった私は会議の始まる前に好奇心から県の職員に案内していただいたことがあった。県内産出大理石壁の古生代生物の化石で飾るエントランスホール。2F踊場に敷かれ



前 岐阜県美術館館長
画家
OKBギャラリーおおがき館長
司町旧県庁舎保存活用協議会 会長

古川 秀昭

た美しいカラータイルでデザインされた床モザイク。またふと思いがけない壁に点在するステンドグラスなどが忘れられない。今になってその建築空間から美濃・飛騨の歴史文化が現在とこれからとを繋ぐ新たな秘められたエネルギーが沸き上がるのである。

今や話題の文化施設メディアコスモスと新市庁舎によってダイナミックな人の流れが創出した中で、この大正期庁舎が息を吹き返すことによって、岐阜県と岐阜市の新たなオアシスゾーンとなりうるのではないかと。先ずはこの地に生活する人、建築や行政の専門家は当然のことだが、詩を詠む人、作家やアーティストたちが集って誰もが思いもよらぬ、まったく想定外の保存活用を探ろうではないか。

新しい風をおこそう！

新しい街を作ろう！ 岐阜の文化を未来につなごう！



国立大学法人 東海国立大学機構
岐阜大学 地域科学部 名誉教授
司町旧県庁舎保存活用協議会 副会長

富樫 幸一

旧県庁舎の場所の記憶を

ぎふまちづくりセンターでは岐阜地域振興局(当時)と一緒に、協働型県民活動促進事業では厳かな感じがする正庁で「岐阜三十六景」でコンペにのぞみました。

映画やドラマでは、ホールの階段や昭和の感じがするオフィスでロケが行われてました。保存と活用のため、建築学会や市民の皆さんと「イカス旧岐阜県庁舎の会」の活動で、ワークショップやコンサート、見学会も行ないました。正面部だけを残して一端閉じられましたが、最後のホールでのライブはとて素晴らしい音が響きましたし、見学会は昔を偲んで元職員や近所の人たちであふれました。

「司町」の地名が語るのは、大正末に新築された当時、知事は内務省からの官選でしたし、農業や河川問題などで全国でも先進的な事業が行われた場所だったからです。

このプレースを新しい時代にふさわしい市民協働の場として、地元の岐阜町のまちづくりとも一緒になって活かしたい。

つまりは過去の記憶を受け継ぎつつ、これからの「ガバナメントからガバナンスへ」のシンボルと再生できるように、県・市とともに保存と活用をめざしてやっていきましょう。



独立行政法人 国立高等専門学校機構
岐阜工業高等専門学校 建築学科 准教授
司町旧県庁舎保存活用協議会 副会長

清水 隆宏

旧岐阜県庁舎を利活用することの意義

時代は令和となり、新しい岐阜県庁舎が完成を迎えます。「県政の拠点」としての役割を持ち、豊かな自然と伝統文化に彩られた「清流の国ぎふ」を象徴する庁舎となるそうです。それまでの庁舎は、岐阜の発展を見据えて田園の中心に聳えたつ岐阜県の新時代を象徴する建物として昭和41年に竣工したものでした。このようにいつの時代も県庁舎は県を代表する建物として威容を誇り、県民の期待を集めて建設されています。

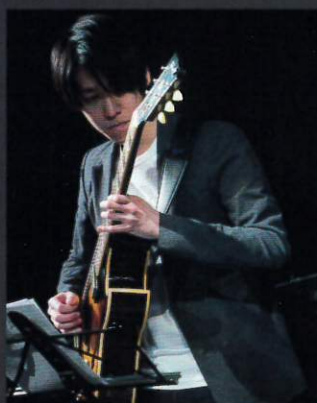
本イベントで対象としているのはさらに1代前、大正13年に竣工した旧岐阜県庁舎です。設計顧問の矢橋賢吉、当時県の土木課長で後に岐阜市長を長く務めた松尾国松、地元の矢橋大理石商店による石材施工(一部は美濃赤坂産の大理石を使用)、岐阜に縁のある木内真太郎によるステンドグラス製作(長良川鶉飼と養老の滝、飛騨アルプスといった美濃と飛騨を象徴するデザイン)、建設には岐阜県にルーツを持ち、かつ各分野の一流の人々・組織が関わっていました。このように、歴代県庁舎の中でも意匠・材料・施工の背景等、特に思いが込められた特別なこの建築を、岐阜県の歴史を伝える存在として未来の県民へ継承することは現代の我々の責務ではないでしょうか。

QUEST TWO

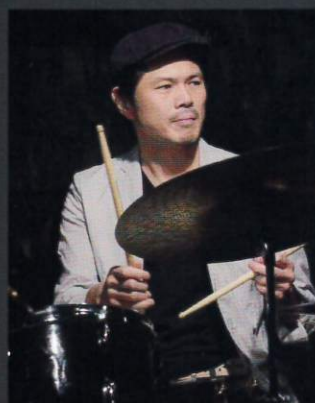
100年前の旧岐阜県庁舎 & 100年ジャズを味わおう。



土田 晴信
(Hammond organ)



成瀬 明
(guitar)



倉田 大輔
(Drums)

土田晴信オルガントリオ JAZZライブ

みんなの森 ぎふメディアコスモス 1F「ドキドキテラス」

2022 9.19 MON

1st stage 13:30~14:30

2nd stage 15:30~16:30

〈イス席 30席 / 立ち見OK〉

参加
無料



Hal Tsuchida
Official website